

令和6年度厚木市市民協働推進委員会第2回会議 議事録

1 日 時 令和6年10月3日（木）午前9時30分から午後12時40分まで

2 場 所 あつぎ市民交流プラザ7階 ミュージックルーム1、ルーム701

3 出席者 厚木市市民協働推進委員7人
市民協働推進課長、市民協働推進係長、同係員2人

4 傍聴者 0人

5 案 件

- (1) 令和7年度市民協働提案事業の第二次審査について
- (2) 第二次審査（プレゼンテーション）
- (3) 第二次審査の結果取りまとめについて

6 配布資料

- (1) 資料1 令和7年度市民協働事業（第二次審査対象事業）
- (2) 資料2 令和7年度厚木市市民協働提案事業第二次審査スケジュール
- (3) 資料3 提案団体への事前質問・回答

7 会議内容

- (1) 令和7年度市民協働提案事業の第二次審査について

【委員長】

本委員会は原則公開で行い、傍聴を可能としておりますが、審査結果の取りまとめについては、公正・円滑に進めるため、審査結果の取りまとめにつきましては非公開としたいと考えております。御異議はございませんでしょうか。

（委員）

<異議なし>

【委員長】

案件（1）について事務局から説明願います。

【事務局】

資料に基づき第二次審査について説明。

【委員】

2つの事業が第一次審査を通過できなかった理由は。

【事務局】

「タンスに眠る帯や着物を活かしたリメイク活動（SDGs）」につきましては、「リユース品の販売で得た収入の範囲で実施すべき事業と考える。」などの意見がありました。

また、『At Atsugi』よさこいで厚木の活性化・PR 事業(仮称)」につきましては、「市民サービスの向上が期待できないのではないか。」などの意見がありました。

(2) 第二次審査（プレゼンテーション）

ア カーボンニュートラルあつぎ未来プロジェクト 2025

【司会】

提案団体からプレゼンテーションをお願いします。

【提案団体】

プレゼンテーション（約 10 分）

【司会】

審査委員から質問があればお願いします。

【委員】

市民にいかに見えるようにするかが課題といった話がありましたが、それにどう対応するかがポイントとなると思いました。

報償費が予算全体の 65%になっています。人数を多く集めて回数を減らすなど、コストパフォーマンスを高くする工夫も必要ではないでしょうか。

2028 年度の自己資金が 10 万円になっていますが、具体的にどの様な活動をするのでしょうか。

【提案団体】

普及していくことが重要であり、今年度はそこに注力しています。

子ども向けのワークショップや公民館で御説明の機会を 10 回予定しています。今後も機会をつくって継続したいと思います。

分かりやすいパンフレットを作成しましたので、5 月に自治会に回覧していただきました。

小さい規模での個別プロジェクトを実施していくことになっています。

自己資金 10 万円については、現段階では団体の収益を充てられる限度となっていますので、他の方法も考えなければならないと思っています。

イ あつぎ夢プロジェクト

【司会】

提案団体からプレゼンテーションをお願いします。

【提案団体】

プレゼンテーション（約 10 分）

【司会】

審査委員から質問があればお願いします。

【委員】

昨年度に、今年度の計画を見た際、言葉は悪いですが、ただのカラオケ大会ではないか。という印象もありました。令和7年度は太鼓、ダンス、サッカーなど幅広い事業をするということでした。予算などで苦勞することもあるかと思いますが、子どもを含めた事業を是非継続していただきたいと思います。

【提案団体】

事業を継続するためにはボランティアを増やすことや、協賛してもいいという声もいただいているので、スポンサー化すること、現在参加費を無料又は格安としていますが、ある程度の知名度が上がれば参加費を上げることもできるのではないかと思います。

財源を確保するために物品販売も検討の余地があります。

【委員】

子どもを対象とした事業の講師謝礼及び参加費はどうなっていますか。

【提案団体】

現段階で具体的には決まっていません。ロボットプログラミング講座やサッカー教室などは、知り合いの方にやっていただくので、講師料は無料となります。

現段階では予算はゼロとしています。

【委員】

ロボットプログラミングについて、神奈川工科大学にも相談してはどうでしょうか。

【提案団体】

参考にさせていただきます。

ウ 厚木かるた大会

【司会】

提案団体からプレゼンテーションをお願いします。

【提案団体】

プレゼンテーション（約 10 分）

【司会】

審査委員から質問があればお願いします。

【委員】

かるたの内容は更新されるのですか。

【提案団体】

今、2つの札の更新を検討しています。

【委員】

児童館には配っていますか。

【提案団体】

市民協働事業になる前に配っています。

【委員】

予算としてはどうでしょうか。

【提案団体】

現在、かるた大会は参加費無料で、トロフィーや賞品は協賛金で賄っています。

協賛金が減ってくるのであれば、求められなくなっているとも考えられるので、その際は事業規模を縮小すると思います。

【委員】

事業が継続されることを期待します。

かるたの販売状況は。

【提案団体】

今の販売状況はぼちぼちです。あつまる、有隣堂、食の市などで販売していただいています。

【委員】

小学3年生への配布は今後も継続していただきたいと思います。

小学3年生に配布する理由は。

【提案団体】

当初は小学1年生の入学祝として配布しようとしたのですが、提案事業として実施する場合、間に合わないことと、小学3年生は厚木市のことを学ぶ授業があり、授業の中でもかるたをしていただいていると聞くので、3年生が一番盛り上がってくれるの

ではないかと思ったためです。

幼稚園や保育園にも 20 人に 1 つずつお配りしています。

市民協働提案事業実施期間中の 3 年間に 3 年生に配布することで厚木かるたが浸透すると思っています。団体の負担だけで 3 年生への配布を継続することは難しいですが、皆様の声が大きくなれば、厚木市として配っていただくこともあるかもしれません。

【委員】

かるた大会に参加する年齢層は。

【提案団体】

低学年の部、高学年の部、一般の部、シニアの部と、4 つのグループに分けています。

家族で参加する場合は子どもがパパやママの応援ができて、パパやママは子どもの応援ができるようにしています。

エ ハーモニカのまち厚木

【司会】

提案団体からプレゼンテーションをお願いします。

【提案団体】

プレゼンテーション（約 10 分）

【司会】

審査委員から質問があればお願いします。

【委員】

公民館での活動も検討してはどうでしょうか。

収支予算にチケットの金額が 3,000 円とありますが、高くはないでしょうか。

【提案団体】

公民館で子どもからお年寄りまで参加できる講座ができないか検討しています。

チケット代につきましては、単に発表会にするのではなく、魅力あるステージにするために必要な照明代スタッフ代などを掛け、誰が来ても楽しめるコンサートをしたいと思っています。

ハーモニカコンサートを開催すると全国からたくさんの方がいらっしゃいます。逆に厚木の方にハーモニカの魅力をもう一度思い出してほしいと思っています。

【委員】

現在、講座には何人位の方が来ていますか。

【提案団体】

小学生で延べ 25 人位の方が来てくれました。

オ 多様なことばや文化に触れる、厚木市親子多言語多文化交流事業

【司会】

提案団体からプレゼンテーションをお願いします。

【提案団体】

プレゼンテーション（約 10 分）

【司会】

審査委員から質問があればお願いします。

【委員】

将来全国に広める構想があるのですか。

【提案団体】

団体としては全国に広めていきたいと考えております。現在、神奈川県では川崎、横浜、厚木、海老名でこういった活動をしています。

【委員】

子ども会、青少年健全育成会などにもアプローチしてみてもはどうでしょうか。

【提案団体】

参考にさせていただき、様々な団体と繋がっていきたいと思います。ありがとうございます。

カ トップアスリートの実技指導や講話を通じて、児童の「夢」を育み、スポーツへの興味関心を高める。

【司会】

提案団体からプレゼンテーションをお願いします。

【提案団体】

プレゼンテーション（約 10 分）

【司会】

審査委員から質問があればお願いします。

【委員】

イベントの告知の方法は。

【提案団体】

チラシの配布がメインになると思います。

【委員】

イベントが年に2回ですがその間にすることはありますか。

【提案団体】

2年目以降は大会などができないか検討したいと思います。

【委員】

知的障害の方の参加の話がありましたが、車椅子の方なども参加できますか。

【提案団体】

その方の身体状況に応じた体操をしていただきます。

【委員】

東町スポーツセンターで開催予定とのことですが、場所の確保については、将来的にどう考えていますか。

【提案団体】

厚木市にもお力添えをいただきながら設備を整えていければと考えています。

キ あつぎストリートフェス

【司会】

提案団体からプレゼンテーションをお願いします。

【提案団体】

プレゼンテーション（約10分）

【司会】

審査委員から質問があればお願いします。

【委員】

路上ライブするミュージシャンの募集人数は。

【提案団体】

1回に4人から6人を考えています。

【委員】

応募人数が少なかった場合は路上ライブを行わないのですか。

【提案団体】

募集人数を超える応募が想定されますが、募集人数より少ない場合でも開催します。

【委員】

公園の使用料は発生しますか。

【提案団体】

使用料は掛かりません。

【委員】

路上ライブは夜だけの開催を予定していますか。昼間は考えていませんか。

【提案団体】

臨機応変にできるよう考えています。現在は夜に開催していますが、10 月には 15 時代に実施することも考えています。

【委員】

イベントを実施するために組織された団体だと思いますが、今後も事業を継続するため、現在実行委員会に関わっている方とくれる方と今後の展望を教えてください。

【提案団体】

現在、10 人を超えるスタッフがいます。厚木の中にエネルギーを溜め込んでいる若者達が多くいると思いますので、そういう子たちが率先して開催できるイベントにしたいと思っています。事業を継続することで仲間を増やしたいと思っています。現在、4 回実施し、10 人を超える方が集まっているので、見通しはいいと考えております。

(3) 第二次審査の結果取りまとめについて

【委員長】

案件(3)について事務局から説明願います。

【事務局】

資料に基づき説明

【委員長】

意見がある方はお願いします。

【委員】

体育協会はスポーツ協会にはないのですかね。

【事務局】

体操協会は厚木市のスポーツ協会にはまだ加盟していません。

提案事業をきっかけに体操をする方を増やして、将来的には厚木市スポーツ協会に加盟することも目指したいと聞いております。

【委員】

体操施設がないことは心配ではありますが、ここで駄目と言ってしまえば将来の展望もなくなってしまうと思います。

【委員】

学校に入り込める事業が多くなるといいと思いました。

【委員】

海老名市や伊勢原市と比べ、厚木市は学校に入り込むハードルが高いと感じます。

【委員】

森の里は学校と地域との連携の蓄積が相当あります。

学校に地域の方が頻繁に行って相談しながら授業をつくるという作業が定着しています。

【委員長】

それでは、皆さんから意見をいただきましたので、提案事業については、すべての事業を採択すべきということで御異議ございませんか。

(各委員) <異議なし>

【委員長】

ありがとうございました。本日の結果は意見書としてまとめ、市長に提出させていただきますので御承知おきください。

以上で本日予定していた案件は全て終了いたしました。ありがとうございました。